

JA みづま だより

2023

1

月号

No.465

三瀬町農業協同組合

謹賀新年





新年のごあいさつ



三潴町農業協同組合
代表理事組合長 江島 光二

明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和4年の農業を巡る情勢につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、経済活動や国民生活にも大きな影響を及ぼしました。また、2月のロシアによるウクライナ侵攻に端を発した国際情勢の緊迫化や円安の進行から、生産資材・燃料価格・輸送費等が高騰し、農業経営を圧迫する事態となっています。

こうした中、6月に久留米地区の5JA（みづま、にじ、みい、くるめ、福岡大城）と農政連5支部は、久留米市の原口新五市長と久留米市議会の石井俊一議長に対し、営農継続へ向けた緊急要請（次ページ参照）を行い、11月には福岡県農業総合対策協議会、JA福岡中央会、福岡県農政連が福岡県選出農政連推薦自民党国會議員に対して、食料安全保障予算等にかかる要請を行いました。

J Aみづまでは、今後もJA福岡中央会、各連合会と連携し、農業政策に関する支援要請を継続していきます。

令和4年度から令和6年度のJAみづま中期経営計画では、令和3年10月のJA福岡県大会において決議された「JAグループ福岡2030年ビジョン」を目指すべき姿と位置づけ、「食料・農業基盤の確立・強化」「地域・組織・事業基盤の確立・強化」「JA経営基盤の確立・強化」の3つを重点事項に掲げました。役職員はこれまで以上に組合員・地域住民にとって必要な存在となることを目指し、「やっぱりJAみづまで良かった」という声を集められるよう取り組んで参ります。

最後になりますが、この新しい年がより良い年となりますよう心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

代表理事組合長 江島 光二

代表理事専務 田中 義信

金融共済担当常務理事 野田 司



生産資材高騰等に対する緊急要請

久留米市の農業・農村振興に対しましては、日頃より特段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍の影響による世界的な物流の混乱などにより、原油をはじめとするエネルギーや穀物等の価格が高騰し、市民生活・社会経済活動へ影響を及ぼしています。

加えて、深刻化するウクライナ情勢により、不透明さが増す中、小麦をはじめ、多くの食料や資源を海外に依存するわが国の供給体制に不安が拡がっております。

農業においても、コロナ禍により需要が完全に回復しない中、肥料をはじめ家畜飼料など生産資材の価格が大幅に上昇しており、農業者の経営を圧迫し、営農継続へ重大な影響を及ぼすことが懸念されております。

つきましては、かかる状況をご賢察いただき、営農継続に向け、下記事項について特段の措置を行っていただきますようお願ひいたします。

記

1. 生産資材高騰対策

- ・肥料や飼料購入における農家負担の軽減に向けた支援。
- ・施設園芸の省エネルギー化や自給飼料の生産・利用拡大に対する支援。
- ・自給飼料の生産・利用拡大に必要となる機械の導入に対する支援。

2. 地元産農林水産物の安定供給対策

- ・地元産小麦の生産性・品質向上を図るための支援や、輸入小麦の代替として期待される地元産米粉の利用拡大に向けた支援について、県や関係機関への働きかけをお願いしたい。

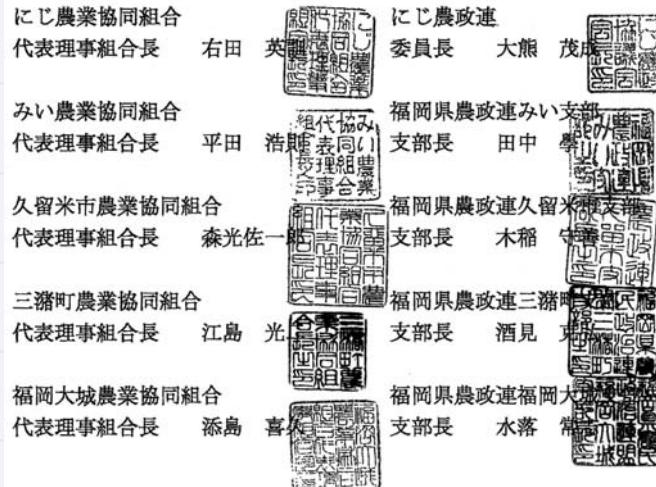
3. 地元産農林水産物の販売・消費対策

- ・外食需要の回復基調を捉えた、地元産農林水産物の販売促進・消費拡大に向けた支援について、県や関係機関への働きかけをお願いしたい。

4. 国および福岡県の補助事業に対する市独自予算の上乗せ継続

- ・現在、久留米市独自で取組まれている、国及び福岡県の農業関連補助事業への上乗せ支援は、農業者が営農を継続する上で大きな支えとなっていることから、久留米市独自の上乗せについて、引き続き支援をお願いしたい。

令和4年6月16日



要望書を受け取る久留米市の原口新五市長



要望書を受け取る久留市議会の石井俊一議長

11/10

イチゴ出荷前研修会

いちご部会は本所3階大研修室でイチゴ出荷前研修会を開き、生産者36名が出席しました。

福岡県朝倉農林事務所久留米普及指導センター、JA全農ふくれんは、温度管理や病害虫防除の徹底を呼びかけ、出荷時の規格や詰め方、着色基準についての確認を行いました。また販売情勢については、新型コロナウイルス感染症の影響により、客足が遠のいていた百貨店等の売り上げが徐々に回復傾向にあることの報告が行われ、生産者は真剣に説明を聞いていました。



11/11

農業用廃プラスチック等回収

久留米市三潴町農業用廃プラスチック等適正処理推進協議会は本所で農業用廃プラスチック等を回収しました。

生産者は不要になった廃ビニールや農ポリ、農薬(空容器含む)を持ち込み、品目ごとに決められた場所に運びました。

JJAは農業用廃プラスチック等を適正に処理するため、協議会に参加しており、令和4年度は3回を予定しており、次回は2月27日に灌水チューブ等のその他廃プラスチックの回収を予定しています。詳しくは次号以降の広報誌でお知らせいたします。



11/12・11/13

永渕俊之さんが農業功労者賞を受賞

久留米市百年公園で第48回ふるさとくるめ農業まつりが開かれ、町内生産者の永渕俊之さんが農業功労者賞を受賞されました。

農業功労者賞は指導的立場で地域の農林水産業の発展に貢献した人に贈られるもので、永渕さんは高い生産技術により、担い手や後継者の育成、経営改善による所得の向上や農地保全の取り組み等が認められました。永渕さんは「とても名誉なこと。これまでの努力が実を結んだ」とうれしそうに話しました。

また、まつり会場ではみづまの里農産物直売所の会員が作った新鮮野菜や加工品の他、ハトムギを使ったオリジナル商品を販売し、JAみづまのPRを行いました。



11/14

米品位格付検査

カントリーエレベーターでは米の品位格付検査を行いました。

個人の荷口ごとに抽出したサンプルを農産物検査員が肉眼で、形質や未熟粒、被害粒の割合等を確認しました。令和4年度の品質について検査員は「成熟期の日照不足により、平年より粒が小さく、充実が不十分だった」と評価しました。

町内では「峰の雪もち」「夢一献」「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」約340ヘクタールを作付けしており、荷受重量は合わせて約2,466トンでした。



11/15

イチゴ共同初出荷

町内ではイチゴの収穫時期を迎え、集荷場には赤く熟れたイチゴが次々と運び込まれました。

出荷初日、いちご部会中村部会長と江島組合長は、検査員に「消費者に喜ばれるイチゴを届けられるようしっかりと検査を頑張ってほしい」と激励の言葉を送りました。

運び込まれたイチゴは検査員が出荷規格の検査を行った後、福岡大同青果へと出荷されました。

令和4年産は生産者数56名、作付面積約987アールで出荷数量418トンを目指します。



11/22

高良大社に新米を奉納

JAは久留米市御井町の高良大社に新米「ヒノヒカリ」120キログラムを奉納しました。

奉納した新米は新嘗祭でご神前に供えられます。

新嘗祭はその年の収穫に感謝をするとともに、来年の豊穰を願う神事で、JAでは毎年新米を納めています。



「ごまみそで超元気」

ごまとみそをベースにした「なめみそ」は、古代から長寿食として公家や僧侶、それに武士の間で珍重されてきました。

米飯によく合うため、特に武士にとっては戦闘力を高める兵糧としても貴重であり、携帯食としてよく用いられていました。

ごまにもみそにも必須アミノ酸のトリプトファンが多い点が注目されます。トリプトファンは幸せホルモンと呼ばれるセロトニンの原料で、ストレスに負けない力となります。暗い気持ちが去り、いつもニコニコ顔になりますから、異性にもよく好かれ、好感度も高くなつて人気者になります。ビタミンB1も多いですから、多少無理しても疲れません。ウイルス感染を防ぐミネラルの亜鉛も含まれています。



トマトの赤い色素のリコピンには強い抗酸化作用があり、体細胞の老化を防いで、長寿力を高めます。トマトにはペクチンやセルロースなどの食物繊維も多く、腸内環境を良くしてくれますから、お通じも良くなり、気分もるんるんと快適になります。

トマトに豊富なビタミンCは、体内でコラーゲンの生成に役立ち、血管をしなやかに保つて、血栓の発生を防いでくれます。ウイルスなどに対する免疫力を高め、風邪を防ぐ働きもあります。

トマトは 赤い長寿食

「トマトのある家に病人なし」。これは歐州に古くから伝わることわざ。確かにトマトにはビタミンや特殊成分など、健康強化に役立つ成分がたっぷり。

「サケを食べて 免疫力強化」



肉質の赤いサケは立派な不老長寿食で、もっともっと注目されても良いでしょう。肉質の赤さから他の魚とは違った神聖でおめでたい魚と考えられ、東日本を中心にお正月には欠かせません。

赤い色には、厄よけの効果があるとか、幸運を呼び込むパワーがあると信じられてきました。この赤い色素はアスタキサンチンという抗酸化成分で、老化防止や免疫力の強化、美肌効果、がんの予防などに期待されています。

サケの脂質にはDHA(ドコサヘキサエン酸)が多く、頭脳力を高めて記憶力の衰えを防ぐ働きがあり、同じくEPA(エイコサペンタエン酸)も含まれていて、こちらは血液をサラサラにする効果で注目されています。

花咲く長寿食

アクティブラジニアになるための



シニアが時代をリードする面白い世の中になつてきました。政治、経済はもちろん、景気、ファッション、グルメ、テレビの人気をリードするのは、今や元気な老人パワー。「アクティブ（活動的）新老人」の時代が幕開けしたのです。花咲けるおじいさま、おばあさまの時代。中年の次が老年で、老年の次が大老人。大老人は90歳以上のアクティブラジニアといつてよいでしょう。

「若さと美しさと大豆」

花咲ける大老人となって100歳人生を「ワッハッハ」と楽しむためには、今日からその準備を開始すべきです。

長寿効果の高い食に気を配り、ストレスをためずによく笑い、とこと歩くこと。中でも重要なのは、毎日口にする食事です。近年、日本人が直面している筋力不足を補うタンパク質としても大豆タンパクは理想的。国産大豆の場合、約35%がタンパク質なのです。

体の筋肉量が十分でないと、免疫力も下がり、高齢になったときの体力が低下して虚弱体質に陥りやすくなってしまいます。大豆に多いイソフラボンは女性ホルモンに似た働きで、女性の若さや美しさを保ってくれます。



監修・イラスト
食文化史研究家
日本の長寿食研究家
イラストレーター
永山久夫

1932(昭和7)年生まれで現在90歳。NHK『チコちゃんに叱られる!』や『突撃!カネオくん』など多くのテレビ番組に出演。現在、徳川家康の長寿法についての本を執筆中。テレビでも講演でもよく笑う。



ご飯こそ 日本の長寿食

日本は「長寿のお国」として世界の憧れですが、米の力がなかつたらこれほど長生きできたでしょうか。米に組み合ってきた大豆、魚、野菜、海藻、山菜、キノコ、お茶などが「ことことく健康食なのです。

日本人は米を縄文時代から現在まで約3000年も食べ続け、ついには世界トップクラスの長寿民族になりました。

米は炭水化物の塊と思われがちですが、タンパク質やビタミンB類、ビタミンE、カリウム、マグネシウム、亜鉛、食物繊維などを含むマルチフードなのです。むしろ現代人の脂質の取り過ぎを抑える上で役に立っています。ご飯を食べると食物繊維に似た効果で整腸作用を高める点にも注目。

土曜朝市開催

みづまの里農産物直売所では、1月21日(土)に土曜朝市を開催します。直売所会員が作った新鮮野菜や加工品の販売の他、蒸したておこわや唐揚げ(手羽先・手羽元)等を販売します。
ぜひお越しください。

【日 時】令和5年1月21日(土)8:30 ~ 12:00

【場 所】犬塚購買店

【お問い合わせ先】犬塚購買店 TEL:0942-64-4373

*犬塚購買店と資材集約センターは通常営業をしておりますのでご利用ください。

【新型コロナウイルス感染症対策】

- ・マスク着用、手指消毒にご協力をお願いします。
- ・咳や熱等で体調不良の方は来店をご遠慮ください。
- ※感染状況により中止とさせていただく場合がございます。
- 中止する場合はホームページにてお知らせいたします。



久留米地域農商工連携ビジネス交流会開催のお知らせ

久留米市では、久留米広域連携中枢都市圏域の農業者や商工業者を対象に、「久留米地域農商工連携ビジネス交流会」を開催します。

【日 時】令和5年2月9日(木)13:00 ~ 16:00(予定)

【会 場】久留米ビジネスプラザ(久留米市宮ノ陣4丁目29番11号)

【参 加 費】無料(要事前申込)

【定 員】会場内収容人数50名(令和5年1月10日から1月27日まで受付:先着順)

【内 容】基調講演とビジネスセミナー及び交流会の2部構成

<基調講演>(主催:久留米商工会議所)
・クラウドファンディングを活用した農商工連携へのヒント

<ビジネスセミナー及び交流会>
・クラウドファンディングの取組事例紹介
・農業者や商工業者等異業種によるグループディスカッション 等

【お問い合わせ先】久留米市農商工連携会議事務局(久留米市農政部農業の魅力促進課内)鉄川

TEL:0942-30-9165 FAX:0942-30-9717

E-mail:noumi@city.kurume.lg.jp



体を動かすためのヒント 手軽に体操 日本体育大学准教授●伊藤 由美子

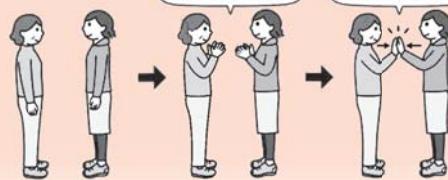
人生100年時代を健康に過ごすために

人生100年時代!わが国の高齢化は、世界に類を見ないスピードで進んでおり、2030年ごろには3人に1人が65歳以上になると試算されています。このような状況を見据えて、現在、自治体をはじめ各種機関や組織で高齢者の健康づくりを支援するための取り組みが行われています。
われわれの体は加齢とともに運動諸機能に変化が起こります。例えば、心肺機能の低下や下肢筋力の低下、関節可動域の狭小化、骨密度の低下、平衡機能の低下などが挙げられます。また、身体的側面のみならず、精神的側面においても不安感や孤独感などが表れてくることも特徴の一つとして挙げられています。
「健康のために運動しよう!」と思っても継続して取り組むことは難しい・・・と感じることはありますか?運動を習慣化するためには、無理なく手軽にできることや、楽しさ、高揚感、達成感などが感じられるようなプログラムが必要です。他者とコミュニケーションを図りながら楽しく運動しましょう。

2つの部位を使った
体操プログラム
「The Taiso
(ザ・タイソ)」は
コチラ



レツツ、トライ! ペアで運動(手拍子~手のひらタッチ)



まず、向かい合わせになります。
次に、タイミングを合わせながら手拍子を8回行います。その後、手のひらを8回タッチし合います。

再度、タイミングを合わせながら手拍子を8回行います。最後に、先ほどと同様に手のひらを8回タッチし合います。

※お互いにタイミングを合わせながらリズミカルに実践しましょう。

13の人権の課題 その1

★高齢者

高齢者が豊かな知識と経験を基に社会に貢献し、生き生きと暮らせる社会をつくるために、理解と共感をさらに深めましょう。高齢者を大切にする心を地域に育て、詐欺商法の被害や介護施設等における虐待、家族等からの虐待などの人権問題を未然に防ぎましょう。



三潴町農業協同組合

〒830-0102 福岡県久留米市三潴町田川21
ホームページ:www.ja-mizuma.or.jp

お問い合わせ

(0942)
64-2211